

ダイワ・ブラジル株式ファンド

<3099>

追加型投信／海外／株式
日経新聞掲載名：ブラジル株F

第62期 2023年9月20日決算

第63期 2023年12月20日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジルの株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第63期末	基準価額	7,498円
	純資産総額	3,047百万円
第62期～第63期	騰落率	7.6%
	分配金合計	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0309920231220◇

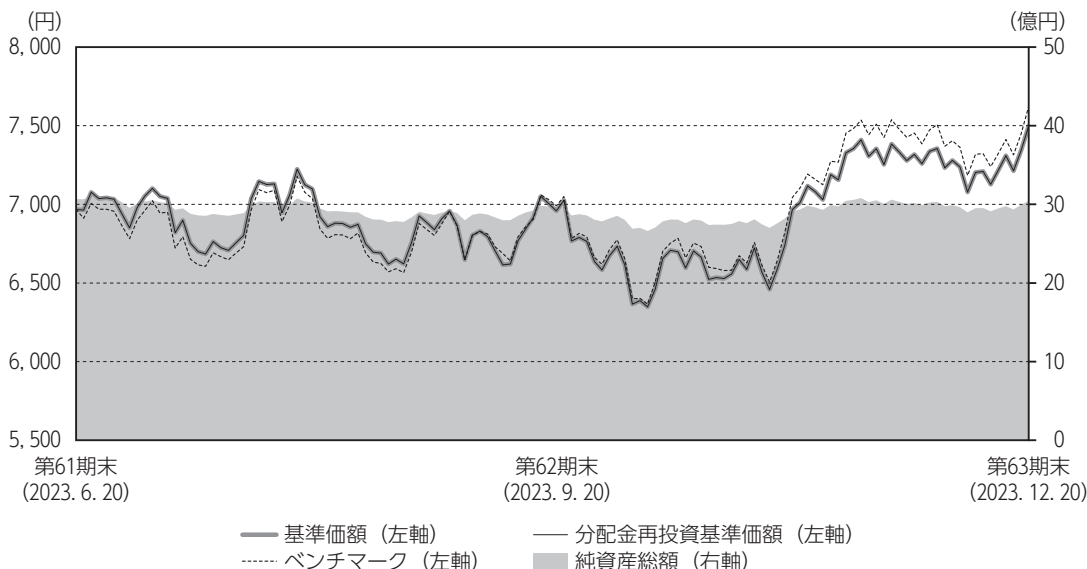
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* ベンチマークはボベスパ指数（配当込み、円換算）です。

基準価額・騰落率

第62期首：6,968円

第63期末：7,498円（既払分配金0円）

騰落率：7.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。ブラジル株式市況が上昇したことが主なプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	第62期～第63期 (2023. 6. 21～2023. 12. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.920%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,913円です。
(投 信 会 社)	(30)	(0.438)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.071	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0.071)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.010	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.010)	
そ の 他 費 用	8	0.121	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.079)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0.039)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	78	1.123	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

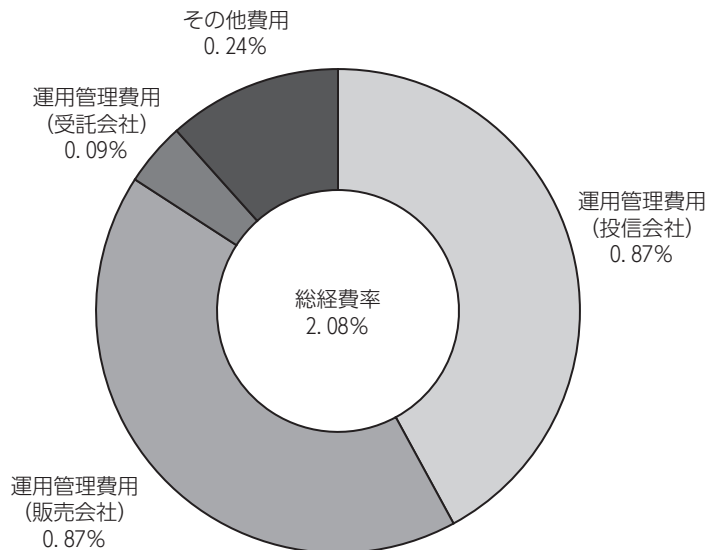
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。

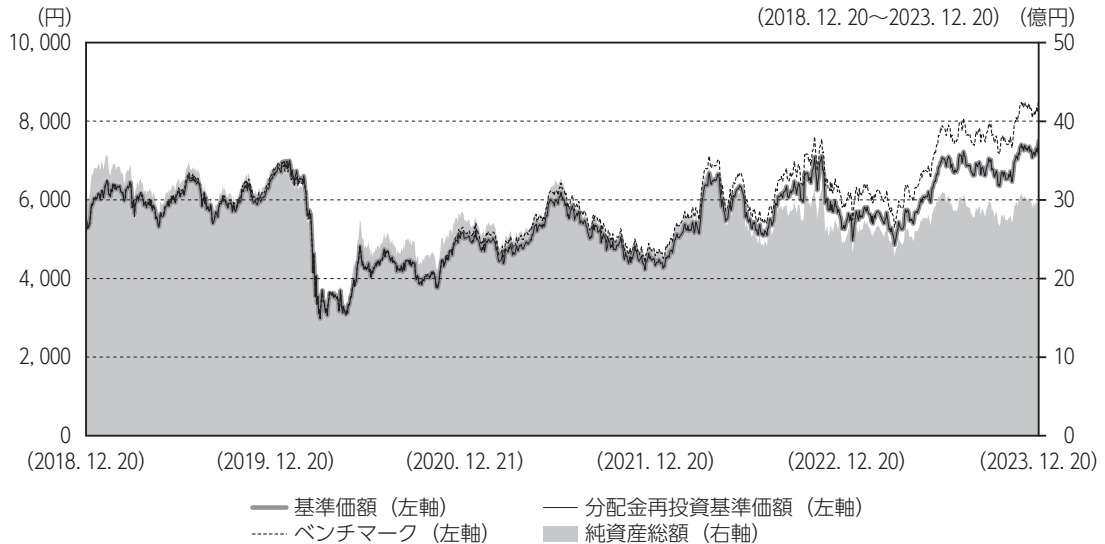


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年12月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2018年12月20日 期初	2019年12月20日 決算日	2020年12月21日 決算日	2021年12月20日 決算日	2022年12月20日 決算日	2023年12月20日 決算日
基準価額 (円)	5,442	6,681	5,153	4,457	5,325	7,498
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	22.8	△22.9	△13.5	19.5	40.8
ボベスパ指数 (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	25.2	△22.6	△10.7	24.2	46.7
純資産総額 (百万円)	3,096	3,418	2,824	2,370	2,481	3,047

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ボベスパ指数 (配当込み、円換算) は、ボベスパ指数 (配当込み、ブラジル・リアルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2023. 6. 21 ~ 2023. 12. 20)

■ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は上昇しました。

ブラジル株式市況は、当作成期首より2023年7月下旬にかけて、インフレ率が市場予想を下回りブラジル中央銀行の利下げ期待が強まったことや、米国株の上昇を受けて底堅く推移しました。7月下旬から10月下旬にかけては、中国の景気減速懸念が強まったことや、中東での地政学的リスクの高まりなどから、ブラジル株式の上値は重くなりました。10月下旬から当作成期末にかけては、米国経済指標の軟化やFOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の据え置きを決めたことなどを受けて利上げ懸念が後退し、米国株が上昇したことから、ブラジル株式も上昇しました。ブラジル中央銀行が利下げを実施したことも、ブラジル株式市況の上昇要因となりました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円でほぼ横ばいとなりました。

ブラジル・レアル対円為替相場は、当作成期首より2023年7月下旬にかけて、ブラジル株式市場への海外投資家の資金流入などを背景に、上昇圧力が強まりました。7月下旬から11月中旬にかけては、中国経済の減速懸念などによりレアルは対米ドルで下落しましたが、米国金利の上昇を背景に円安米ドル高が進行したことなどから、レアルは対円で上昇（円安）しました。その後、当作成期末にかけては、ブラジル中央銀行が利下げを実施したことや円高米ドル安が進行したことなどを背景に、レアルの対円での下落圧力は強まりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率を高位とする方針です。

■ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

ポートフォリオについて

(2023. 6. 21 ~ 2023. 12. 20)

当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位に保ちました。

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

当作成期は、株式組入比率を高位に保ち、成長性や株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。セクターでは、金融セクターの組入比率を高位としました。中長期的なブラジル経済の回復を前提に、国内消費の拡大などから恩恵を受けやすい銘柄をコア銘柄として保有しました。リスク分散の観点から、グローバル景気に敏感な銘柄も一定程度組み入れたポートフォリオとしました。

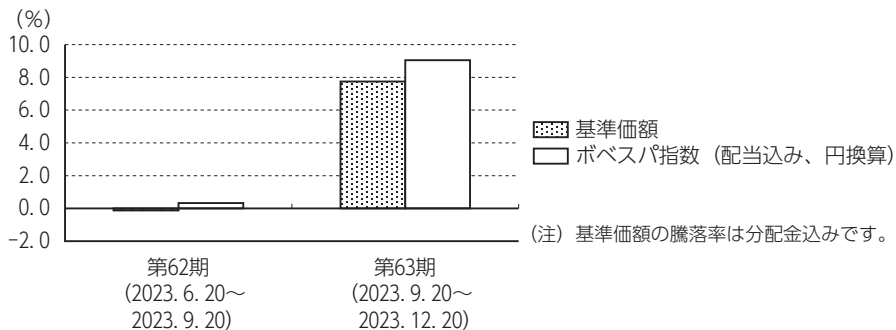
* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

組入ファンド	ベンチマーク
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	ボベスパ指数（配当込み、円換算）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は9.4%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は7.6%となりました。公益セクターのオーバーウエートなどがプラス要因となりましたが、エネルギーセクターのアンダーウエートなどがマイナス要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



* ベンチマークはボベスパ指数（配当込み、円換算）です。

分配金について

当作成期は、分配方針通り、基準価額の水準を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第62期	第63期
	2023年6月21日 ～2023年9月20日	2023年9月21日 ～2023年12月20日
当期分配金（税込み）（円）	—	—
対基準価額比率（％）	—	—
当期の収益（円）	—	—
当期の収益以外（円）	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	3,918	4,401

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率を高位とする方針です。

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

今後もブラジル中央銀行により段階的に利下げが行われることが見込まれるため、利下げの恩恵を受ける国内景気に敏感なセクターの組入比率を高位に保つ方針です。ただし、グローバル景気に敏感なセクターも、リスク分散の観点から、ポートフォリオに一定程度保有する方針です。セクター内の銘柄選択と配分に関しては、バリュエーションや成長性等を総合的に勘案しながら慎重に行っていきます。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデル アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

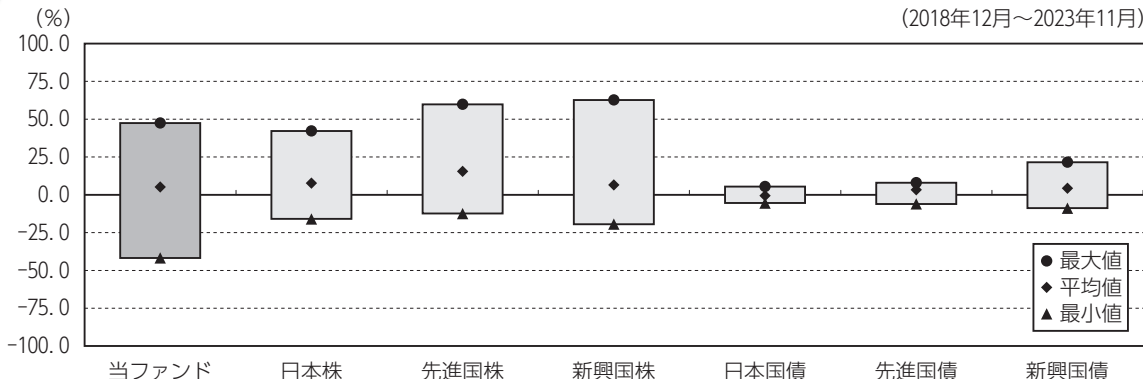


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2008年3月28日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）ならびにブラジルの企業のDR（預託証券）
マザーファンドの運用方法	<p>①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボベスパ指数（配当込み、円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。</p> <p>②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※株式…DR（預託証券）を含みます。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、収益分配前の基準価額が10,000円（1万円当り）を上回る場合に、当該超過額の範囲内で委託会社の判断により分配を行ないます。ただし、基準価額の動向等によっては、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	47.4	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
平均値	5.1	7.6	15.4	6.6	△ 0.6	3.3	4.3
最小値	△ 41.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



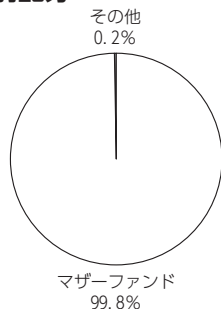
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

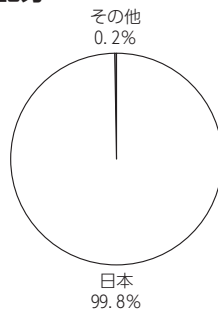
組入ファンド等

	比率
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	99.8%
その他	0.2%

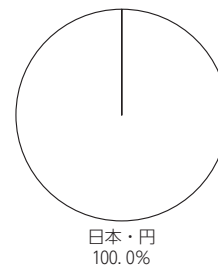
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2023年12月20日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	第62期末	第63期末
	2023年9月20日	2023年12月20日
純資産総額	2,953,356,574円	3,047,638,253円
受益権総口数	4,243,851,403口	4,064,802,063口
1万口当り基準価額	6,959円	7,498円

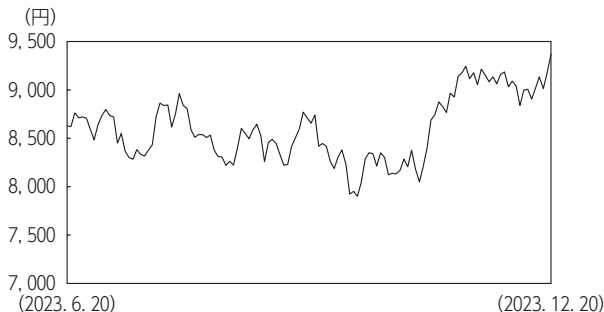
* 当作成期間（第62期～第63期）中における追加設定元本額は641,373,592円、同解約元本額は979,751,724円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ・ブラジル株式マザーファンド（作成対象期間 2023年6月21日～2023年12月20日）

■基準価額の推移



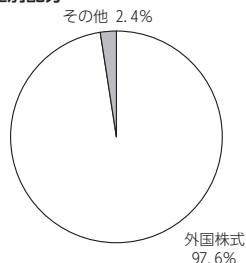
■1万口当りの費用の明細

項 目	
売買委託手数料 (株式)	6円 (6)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)
その他費用 (保管費用) (その他)	10 (7) (3)
合 計	17

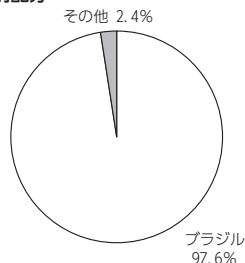
■組入上位銘柄

銘 柄 名	通 貨	比 率
VALE SA-SP ADR	アメリカ・ドル	8.8%
ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR	アメリカ・ドル	7.1
PETROLEO BRASIL-SP PREF ADR	アメリカ・ドル	5.2
BANCO DO BRASIL S. A.	ブラジル・レアル	4.6
CENTRAIS ELETRICAS BRASILEIR	ブラジル・レアル	4.6
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	ブラジル・レアル	4.4
BANCO BRADESCO-ADR	アメリカ・ドル	4.2
LOCALIZA RENT A CAR	ブラジル・レアル	3.8
PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	アメリカ・ドル	3.7
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	アメリカ・ドル	2.7
組入銘柄数	50銘柄	

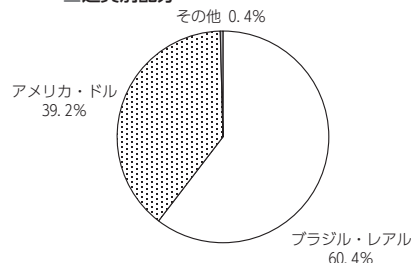
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。